

小暑の候 宮崎県自衛隊協力会 青年部会 宮崎支部会員に於かれましては、益々ご清福の段、大慶至極に存じ上げます。

皆様には日頃より当支部運営に際して特段のご高配を賜り、深甚なる敬意を表すと共に、倍旧のご支援を伏してお願ひ申し上げねばなりません。

過ぐる六月十九日、レマンホテルにて開催の平成二十三年度・隊友会総会に、自衛隊協力会青年部会宮崎支部長としてご案内賜り列席したところ、民主党の現職衆参議員が来賓で参加しており少々驚きました。

今までは代理秘書等であった筈なのに多忙なご本人が出席されるとは、流石世論の変化・動向に敏感な民主党としきりに感心したところです。

同日、民主党代議士会にて内閣不信任案の否決を確実にした後の十七日、稲田朋美弁護士は産経新聞「正論」の中で、「何よりも理解できなかったのは、辞めると言明した人を信任した事、更に云えば辞めると言明したから信任した事である。確かに内閣不信任案は大差で否決されたのだが、その内容は菅直人首相が首相に相応しいからではなく、首相を辞めると云ったから否決されたのである。矛盾と云うほかないし、自浄能力のない民主党が野党の内閣不信任案を利用して菅降ろしをしたという事である。降りる時期を巡っても前首相が、同じ党の現首相をペテン師呼ばわりする混乱ぶりである」と書いていました。

何度読み返してもなるほど納得の一文を書いた稲田弁護士は、福井県選出の自民党代議士でもあり保守の論客として全国的に有名ですが、昨年十月同県にて名刺交換させて頂いた折の第一印象は小柄なとても気さくな人で、舌鋒鋭いあのパワーは一体どこから出てくるのだろうと思えたほどです。

稲田氏を始め最近の保守論壇で活躍する女性達は総じて美人、聡明であり、櫻井よしこ氏、高市早苗氏、金美齡氏、川添恵子氏等、私の知る限りに於いて数え上げても枚挙に暇がありません。

中でも近頃人気急上昇中のジャーナリスト「桜林美佐氏」はお勧めで、特に我等が敬愛する自衛隊応援団としての存在感は、誠に大なるものがあります。

その桜林美佐氏が十一月十二日「日本会議宮崎県中央支部設立大会」のメインゲストとして来宮されますので、支部会員の皆様は何卒ご予定賜れば幸いです。その前に今月十日十四時から設立準備大会記念講演がグリーンホテルに於いて開催されますので、同封チラシをご一読の上、是非こちらにもご参加下さい。

さらに今月二十七日、十八時半より都城の中山荘にて青年部会県総会が開催されますので、当支部役員の方は併せてご列席賜れば幸甚に存じます。

尚、当会の名称が近日中に全国標準の「宮崎県防衛協会青年部会」に改称されますので、多少フライング気味ではありますが皆様にお知らせする次第です。

平成二十三年七月一日

宮崎県自衛隊協力会 青年部会

宮崎支部長 小倉和彦